

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

ドローン活用による密漁防止啓発活動 漁場デモ飛行実施 ～4月29日(土)～

4月29日(土)、明和町大淀ふれあいキャンプ場前浜にてドローンを活用した密漁防止啓発活動として密漁監視デモ飛行が行われました。

当日は午後に雨予報と心配される空模様でしたが天候は持ち、伊勢湾漁協、松阪漁協、採貝漁業者をはじめとする漁業関係者の他、県市町などの関係者およそ40人が参加しました。

本県における密漁の実態については、伊勢湾内ではアサリ、ハマグリ等の二枚貝類が主に被害が大きく、鳥羽、熊野灘地区ではイセエビ、アワビ、サザエ等の被害が継続しています。各浜では漁協、漁業者による自主的な密漁防止活動を行っていますが、例年密漁者の来訪は絶えず、また、監視・警告に必要な人員確保も難しい中での対応を強いられているのが現状となっています。

今回は、南部自動車学校ドローン事業部様の協力の上、ドローンを活用した密漁防止策の検討として、漁場でのドローン実機を使用したデモ飛行を実施しました。

デモ飛行では、警告音声を発するスピーカー付きドローンの飛行、自動操縦等の実演、また教習所から昨年12月の航空

法改正を機に法律面でも整備の進んだドローン運用に関しての座学を行うことにより、今後の導入に向けた知識の習得を図りました。

ドローンでの広範囲かつリアルタイムで行われる監視・警告により、今まで必要であった人員、労働力の削減、また、高性能カメラを用いた高所からの撮影により、密漁者の特徴や行動の特定が容易となることが期待されます。



漁連職員によるドローン操縦



座学の様子

**全国漁業協同組合学校第84期入学式
三重県から2名入学
4月6日(木)**

4月6日、千葉県柏市の全国漁業協同組合学校にて第84期入学式が開かれました。入学した4名の新入生の中の2名は三重県出身者であり、いずれも今春高校を卒業したばかりです。組合学校では、今後1年間寮生活をし、座学や課外授業等で「漁村のリーダー」となるべく学習を進めていきます。

吉田博身校長は新入生への訓示で、「1年後にはJFの若き担い手として漁協現場の真っただ中に入るようになるが、組合学校で学んだ知識、理念、柔軟な思考、若さを力に、これからの漁業のためにチャレンジしていくと思うと今から期待が膨らむ。」と述べました。

**伊勢神宮
外宮奉納市
～3月25日(土)～**

3月25日(土)、伊勢神宮外宮にて、奉納された全国の食品を集めた市が伊勢商工会議所主催で開催されました。新型コロナウイルスの影響で開催は4年ぶりであり、北は北海道から南は鹿児島県まであわせて14の事業者が参加されました。

本会からは、伊勢まだい、伊勢まぐろ、伊勢あさくさ海苔を奉納しました。



三重県漁連の奉納品

**漁業就業支援フェア 2023 夏
＜福岡・東京・大阪＞**

漁業就業支援フェア 2023 が以下の日程で行われます。

福岡：7/8 東京：7/17 大阪：7/22
詳細は三重県漁連 山中までお願いします。

TEL：059-228-1205

Mail：yamanaka-d@miegyoren.or.jp

【今後の主な予定】

5/30 漁連理事会（津）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。